

グローバル・メタバース株式ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第2期(決算日2024年1月22日)

作成対象期間(2023年1月21日～2024年1月22日)

第2期末(2024年1月22日)	
基準価額	12,409円
純資産総額	6,316百万円
第2期	
騰落率	77.7%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・メタバース株式ファンド」は、2024年1月22日に第2期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<645061>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

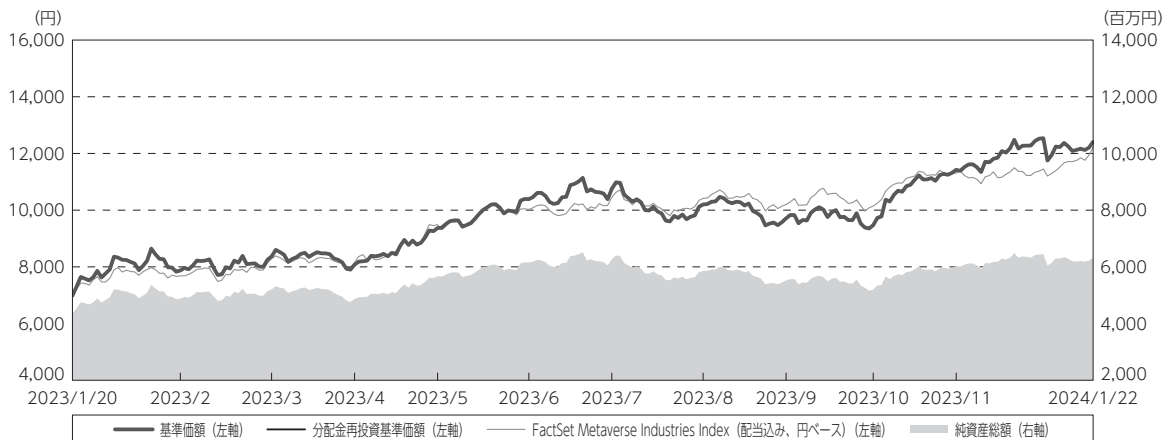
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年1月21日～2024年1月22日)



期首：6,984円

期末：12,409円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：77.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびFactSet Metaverse Industries Index (配当込み、円ベース)は、期首(2023年1月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) FactSet Metaverse Industries Index (配当込み、円ベース)は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会(FRB)による利上げサイクル終了の観測が強まったこと。
- ・人工知能(AI)が様々な業種に浸透し、イノベーションの促進や効率性の向上、複雑な課題への対処に役立てられ、半導体メーカーにとって追い風となったこと。
- ・暗号資産市場の好調な推移や、暗号資産業界における新たな規制によって市場環境の安定化や機関投資家からの資金流入の期待が高まったこと。

<値下がり要因>

- ・一部の保有銘柄においてマクロ経済面の圧力などが響いて企業収益が市場予想を下回り、株価が低迷したこと。
- ・消費者心理の低迷を受けて電子機器や高級品セクターなどの保有銘柄の株価が低迷したこと。

1万口当たりの費用明細

(2023年1月21日～2024年1月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	174	1.808	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(85)	(0.885)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(85)	(0.885)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.039)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.036	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.036)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	11	0.118	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(7)	(0.075)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	188	1.964	
期中の平均基準価額は、9,649円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

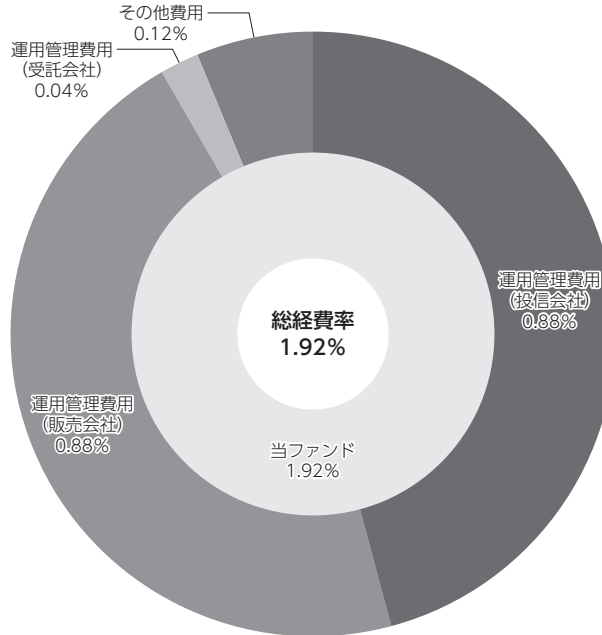
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

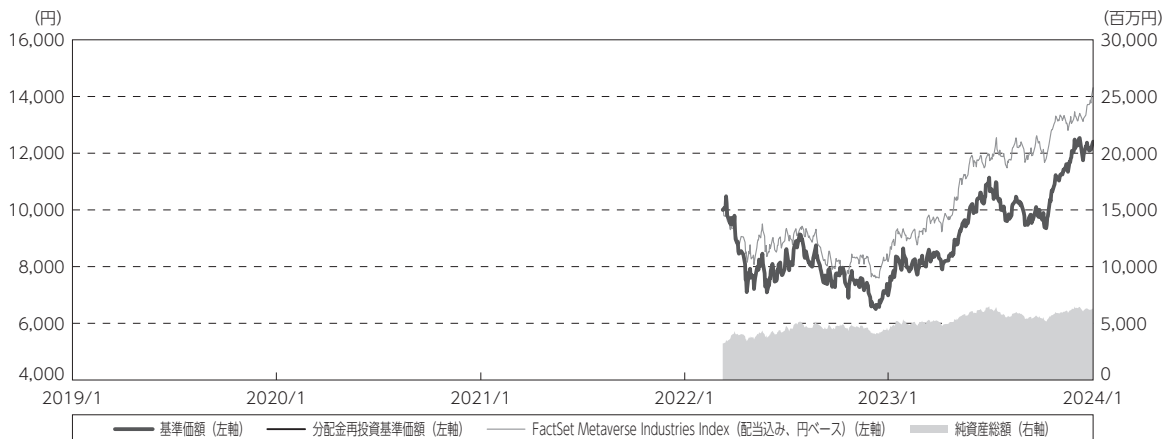
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年1月21日～2024年1月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) FactSet Metaverse Industries Index（配当込み、円ベース）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2022年3月31日です。

	2022年3月31日 設定日	2023年1月20日 決算日	2024年1月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	6,984	12,409
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 30.2	77.7
FactSet Metaverse Industries Index (配当込み、円ベース) 騰落率 (%)	—	△ 18.2	75.0
純資産総額 (百万円)	3,229	4,343	6,316

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年1月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) FactSet Metaverse Industries Index（配当込み、円ベース）は当ファンドの参考指数です。
- 参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2023年1月21日～2024年1月22日)

(株式市況)

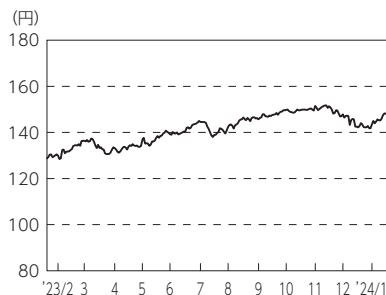
世界の主要株式市場は、強弱入り混じる経済シグナルやF R Bの次の政策動向を巡る見通しに左右される展開となり、ボラティリティ（変動性）の高い市場環境となりました。期間中、F R Bは利上げを4回実施しましたが、2023年7月の利上げを最後にその後は金利を据え置きました。F R Bはインフレ抑制に重点を置いていることから、株式市場の動きは毎月の消費者物価指数（C P I）の結果に大きく左右され、総合インフレ率が市場予想を下回ると市場が好反応を示し、逆に上振れすると株価が下落する傾向が見られました。また、雇用統計にも投資家の注目が集まりました。株式市場は2023年末にかけて上昇しましたが、2024年は不安定なスタートとなりました。中国発のニュースがまちまちな内容となったことも、ボラティリティを高める要因となりました。

今後の市場動向は、F R Bの政策や世界経済を巡る根強い先行き不透明感の影響を受けやすい状況が続くとみられます。消費者心理の低迷や個人貯蓄率の低さも、市場環境の不透明感が増す要因となっています。

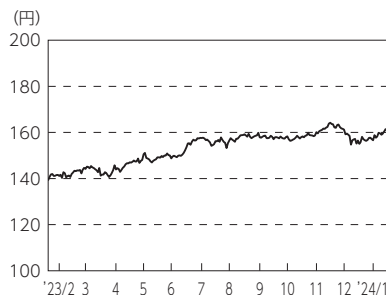
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

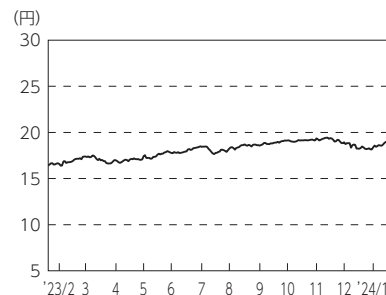
円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



円／香港ドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2023年1月21日～2024年1月22日)

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローバル・メタバース株式マザーファンド)

期間中の投資行動としては、暗号資産分野に進出していくための投資を行っており、ユーザーによる暗号資産の交換・送金や、所有するNFTや暗号資産の閲覧を可能にするウォレットのアプリを提供するRobinhood Markets（金融サービス）を、新規に組み入れました。当ファンドでは、デジタル資産のエコシステムは拡大していくとみており、この投資テーマ全体が引き続き追い風になるとみています。

厳しいマクロ環境のなかユーザー基盤の維持に成功しているピンタレスト（メディア・娯楽）についても、新規に組み入れました。eコマースや広告事業を通じてユーザー基盤を収益化する独自のポジションにあり、世界のデジタル経済の成長を可能にしていると評価しています。

また、スポティファイ・テクノロジー（メディア・娯楽）も、新規購入しました。2022年にオンラインゲーム・プラットフォーム上にメタバースを立ち上げ、このようなプラットフォームに進出する初めての音楽ストリーミング・ブランドとなりました。以来、インタラクティブ体験を生み出し続けています。

一方、ビュージックス（テクノロジー・ハードウェアおよび機器）を全売却しました。当ファンドでは、経済情勢全般を考慮すると、OEM事業および低迷している消費者向けAR（拡張現実）市場の見通しは悪化していることから売却し、状況が変化した場合には継続的に再び分析していくことが賢明と判断しました。

また、イマージョン（テクノロジー・ハードウェアおよび機器）については、相場上昇局面での分散化戦略の一環として、メタバースにおいてより重要とみられる上述のテクノロジーに資産を配分するため、保有を解消しました。

さらに、高級品小売のマクロ環境を踏まえて同分野の投資配分引き下げるため、アディダス（耐久消費財・アパレル）およびケリング（耐久消費財・アパレル）についても全売却しました。

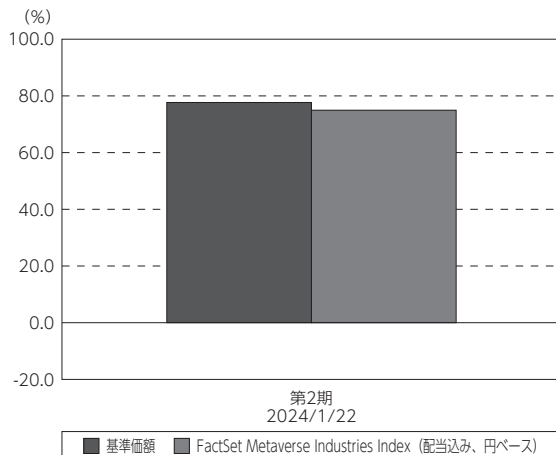
当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年1月21日～2024年1月22日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FactSet Metaverse Industries Index (配当込み、円ベース)は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2023年1月21日～2024年1月22日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 2 期
	2023年1月21日～ 2024年1月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,103

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル・メタバース株式マザーファンド)

メタバースとは、高い双方向性を持ったオンライン体験を世界中の人々に提供するための、新しいテクノロジーの集合体であると考えています。AR、VR（仮想現実）、Web 3.0（ブロックチェーン（分散型台帳技術）技術によってデジタルオーナーシップと相互運用性が備わった次世代インターネット）、次世代ハードウェアといった単一の技術ではなく、これらの技術が融合することによって実現される次世代のインターネットこそがメタバースであり、これが新たな消費者向けのオンライン体験の波を作り出していくと考えています。

人々がより多くの時間をオンライン上で過ごすようになるにしたがって、オフラインでの消費は今後10年以内に頭打ちする可能性があると考えています。AR/VRや次世代のハードウェア、インフラによる没入型の体験、そしてブロックチェーンによるデジタルオーナーシップ（デジタル上の所有権）の実現により、消費者はデジタル資産の価値を徐々に評価するようになり、最終的には現実の資産と同等以上とみなすようになると考えています。当ファンドでは、オンライン消費額が2030年までに12兆アメリカドル超にまで拡大する可能性があると考えています。

メタバースは決して短期的な投資アイデアではありません。現在、メタバースは初期段階にあり、関連技術のイノベーションが進み始めたところですが、初期の活用事例はデジタル・エンターテインメントを中心に展開されると考えています。そして時間の経過とともに規制や法律がデジタルオーナーシップに追いつき、バーチャル世界の領域が、デジタルツイン（仮想空間に現実空間と同じ環境を再現する技術）、AI/機械学習やシミュレーション、労働のトレーニングと能力開発などに応用され、ビジネスでの活用事例が拡大するとみられます。

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

お知らせ

2023年1月21日から2024年1月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第21条、第22条、第23条、第28条)

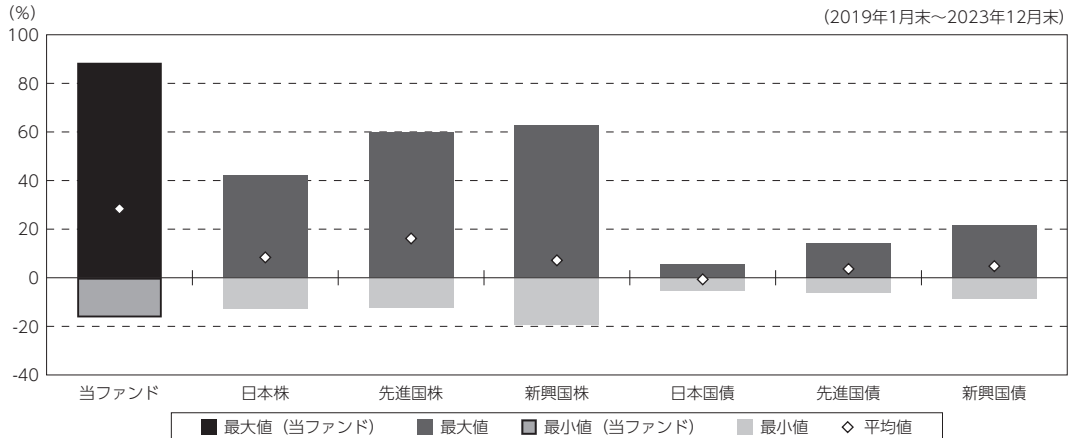
当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、信託期間を無期限とするよう、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第4条、第57条)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年3月31日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	グローバル・メタバース株式ファンド	「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・メタバース株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	88.5	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
最小値	△ 16.3	△ 12.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	28.4	8.4	16.2	7.2	△ 0.7	3.6	4.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2023年3月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象とした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年1月22日現在)

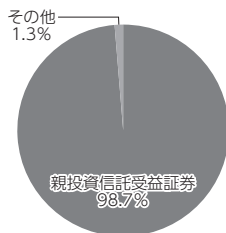
○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
グローバル・メタバース株式マザーファンド	98.7%
組入銘柄数	1銘柄

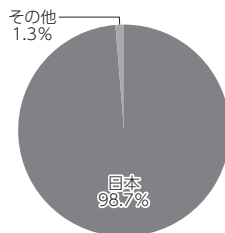
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

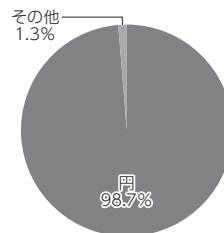
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

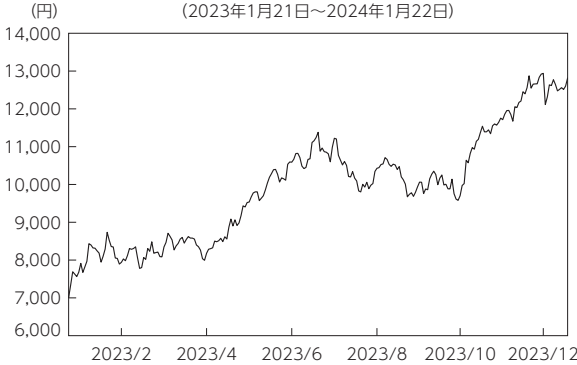
項目	第2期末
	2024年1月22日
純資産総額	6,316,698,734円
受益権総口数	5,090,607,572口
1万口当たり基準価額	12,409円

(注) 期中における追加設定元本額は638,769,377円、同解約元本額は1,767,728,080円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・メタバース株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月21日～2024年1月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	4 (4)	0.037 (0.037)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.039 (0.039)
合 計	8	0.078

期中の平均基準価額は、9,842円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

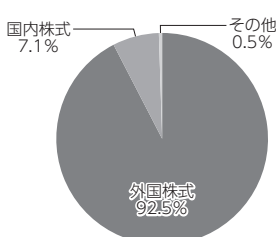
【組入上位10銘柄】

(2024年1月22日現在)

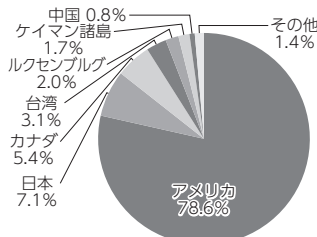
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	UNITY SOFTWARE INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	8.1%
2	ROBLOX CORP -CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	8.1%
3	COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	6.8%
4	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	6.7%
5	SHOPIFY INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	カナダ	5.4%
6	TWILIO INC - A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	4.8%
7	ADVANCED MICRO DEVICES	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	4.0%
8	SNAP INC - A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	3.5%
9	PURE STORAGE INC - CLASS A	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	3.4%
10	CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.4%
組入銘柄数			43銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

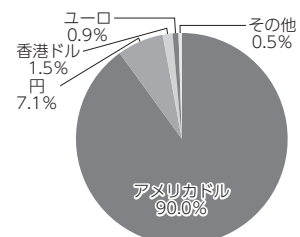
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

グローバル・メタバース株式ファンド

【貸借対照表】

(単位:円)

	第1期 2023年1月20日現在	第2期 2024年1月22日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	131,325,302	166,101,613
親投資信託受益証券	4,233,364,980	6,234,111,091
未収入金	16,144,035	—
流動資産合計	4,380,834,317	6,400,212,704
資産合計	4,380,834,317	6,400,212,704
負債の部		
流動負債		
未払解約金	9,633,473	25,310,228
未払受託者報酬	537,572	1,152,541
未払委託者報酬	24,576,315	52,690,406
未払利息	33	50
その他未払費用	2,411,024	4,360,745
流動負債合計	37,158,417	83,513,970
負債合計	37,158,417	83,513,970
純資産の部		
元本等		
元本	6,219,566,275	5,090,607,572
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△1,875,890,375	1,226,091,162
(分配準備積立金)	—	1,579,300,794
元本等合計	4,343,675,900	6,316,698,734
純資産合計	4,343,675,900	6,316,698,734
負債純資産合計	4,380,834,317	6,400,212,704

【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第1期		第2期	
	自	2022年3月31日	自	2023年1月21日
	至	2023年1月20日	至	2024年1月22日
営業収益				
受取利息		122		188
有価証券売買等損益		△1,430,717,295		3,225,375,755
営業収益合計		△1,430,717,173		3,225,375,943
営業費用				
支払利息		38,702		34,162
受託者報酬		1,360,065		2,167,691
委託者報酬		62,178,739		99,100,257
その他費用		2,504,969		4,476,730
営業費用合計		66,082,475		105,778,840
営業利益又は営業損失(△)		△1,496,799,648		3,119,597,103
経常利益又は経常損失(△)		△1,496,799,648		3,119,597,103
当期純利益又は当期純損失(△)		△1,496,799,648		3,119,597,103
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)		△92,531,946		510,615,839
期首剰余金又は期首欠損金(△)		—		△1,875,890,375
剰余金増加額又は欠損金減少額		31,516,592		510,032,161
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		31,516,592		510,032,161
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		—		—
剰余金減少額又は欠損金増加額		503,139,265		17,031,888
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		—		—
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		503,139,265		17,031,888
分配金		—		—
期末剰余金又は期末欠損金(△)		△1,875,890,375		1,226,091,162